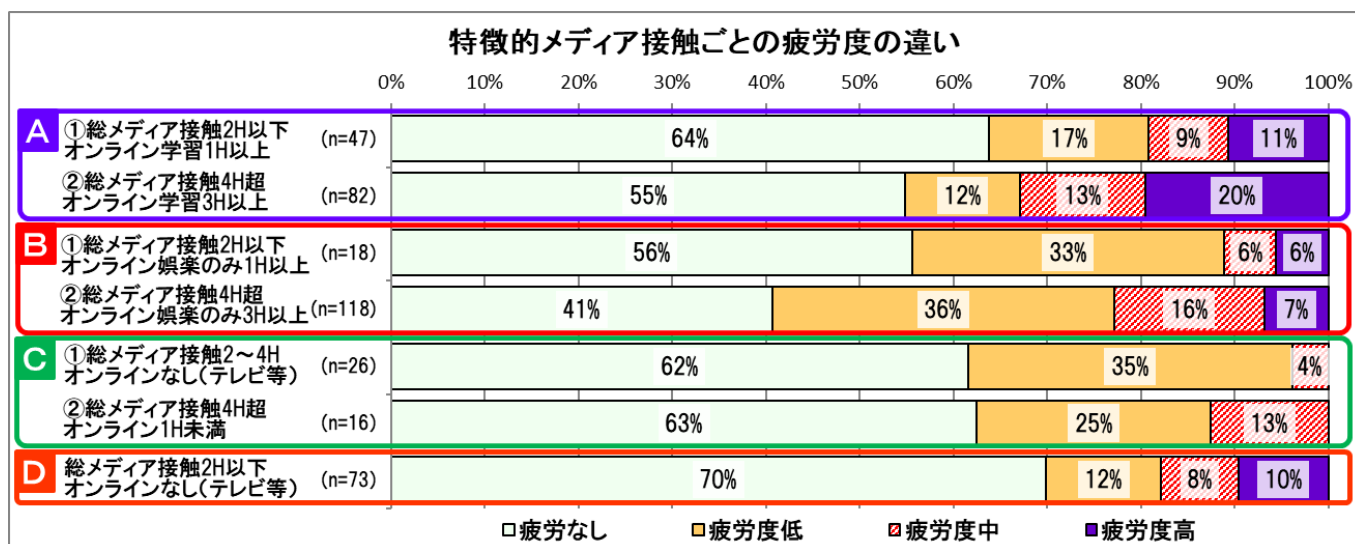


2020年5月26日

報道関係者 各位

コロナ臨時休校中の小学生メディア接触実態調査報告 ～小学生のオンライン学習／ゲーム・動画と疲労度の関係～

群馬大学（群馬県前橋市）伊藤賢一教授らの共同研究グループが全国の小学生の保護者を対象として本年5月初めに実施したアンケート調査の結果についてお知らせします。この調査は科学研究費助成事業による研究（課題番号20H01672）の一環として実施したもので、オンライン学習やゲーム・動画と疲労度について注意を促しています。



1. 本件のポイント

- 9割以上の小学生は何らかのネット機器が使える環境になっています。以前に比べ、8割の小中学生にメディア接触の増加が認められます。
- 家庭での学習は、9割強が学校から配布されたプリントや問題集を利用しています。学校からオンライン指導が開始されたのは1割、その他のデジタル教材の利用も認められます。
- とくに低学年の長時間のオンライン学習は児童に対して高い疲労を起こしている可能性が示されました。
- 学習に使用する機器としてスマートフォンは疲労度が高い可能性があります。
- 保護者は「学習のためのメディア接触」をメディア接触の増加ととらえる意識が薄いようです。

2. 本件の概要

新型コロナ禍により、本年3月より全国の多くの学校が休校となり、子どもたちは突然登校できない事態となりました。研究チームは、この状況下で子どもたちはどのように過ごしているのか、どんな影響がでているのか、保護者はどのような懸念を持っているのか、その全体像を明らかにする必要があると考え、小学生の子どもがいる保護者を対象としたweb調査を実施しました。回答を求めた項目は、小学生のネット利用環境、家庭での学習状況、メディアの利用時間、健康状態、保護者の困り事・心配、等です。本件はこのアンケート結果の速報値について報告するものです。

3. 記者会見日程と方法 オンライン（Zoom）会見（2回実施）

■日 時：

第1回 2020年5月27日（水） 9：30～11：00

第2回 同 日 13：30～15：00

■日程 報告と提言 発表－30分 質疑－60分

報告者 伊藤賢一、大谷良光、古野陽一

■申込方法：下記申し込み先にMAILをお送りください。

申し込まれた方に、**ミーティングIDとパスワードをMAILで連絡します。**

■申し込み先：プロジェクト事務局長 大谷良光

E-MAIL：ootani.net.risuku.ken@gmail.com

4. 配付資料

『速報値・簡易報告書』A4用紙14ページを下記Webに掲載しますので、ダウンロードをお願いします。

■群馬大学・伊藤賢一の個人ページ

<http://www.si.gunma-u.ac.jp/~itoken/kaken2020.html>

■子どものネットリスク教育研究会（代表・大谷良光）

<http://www.hiro-univ-netpat-otani.com/>

【本件に関するお問合せ先】

■群馬大学社会情報学部教授 伊藤賢一 TEL：080-3271-0064

E-MAIL：ito_kenichi@gunma-u.ac.jp

■群馬大学社会情報学部総務係 TEL：027-220-7410

■プロジェクト事務局長 青森大学客員教授 大谷良光 TEL：080-6054-6502

E-MAIL：ootani.net.risuku.ken@gmail.com

注：案内は、文科省記者クラブ、研究者に関係する都道府県県庁記者室等に配信しています。